

2004年4月21日

各 位

会社名 日立電線株式会社
代表者 執行役社長 佐藤 教郎
(コード番号 5812 東証・大証1部)
問合せ先 人事総務本部 総務部長
鈴村 慎一郎
(TEL 03-5252-3261)
当社の親会社 株式会社日立製作所
代表者 執行役社長 庄山 悦彦

2004年3月期業績予想の修正について

2004年3月期(2003年4月1日~2004年3月31日)の連結経常利益の予想について、2004年2月3日の「第3四半期(9ヶ月累計)業績の概況(連結)」発表時に公表しました予想値を30%以上、上回る見込みになりましたので、お知らせします。

記

1. 2004年3月期連結業績予想の修正(2003年4月1日~2004年3月31日)

	単 位	売 上 高	経常利益(損失)	当期純利益(損失)
前回発表予想(A) (2004年2月3日発表)	百万円	325,000	4,000	△2,900
今回修正予想(B)	百万円	340,000	5,300	△2,300
増減額(B)-(A)	百万円	15,000	1,300	600
増 減 率	%	4.6%	32.5%	—
(ご参考)前期実績 (2003年3月期)	百万円	325,100	△3,677	△7,090

2. 修正の理由

当社及び当社グループの2004年3月期売上高は、民間設備投資の持ち直し等に支えられ、堅調に推移しました。また、利益面では、売上げの伸びやここ数年来取り組んできました事業構造改革の効果のほか、当社が、2004年3月1日をもって当社連結対象子会社である東日京三電線株式会社を株式交換により完全子会社化したことに伴い連結調整勘定が発生し、この償却額を営業外収益に計上すること等により、連結経常利益が当初予想を30%以上、上回る見込みとなったものです。

以 上

(注意事項)

前述の業績予想に記載されている各数値は、実績数値を除き当社が現時点で判断する一定の前提及び仮定に基づき計算しており、実際の業績等は予想の数値と異なることがあります。その要因のうち主なものは、次のとおりです。

- ・ 主要市場（特に日本、米国、アジア）における経済状況
- ・ 急激な技術変化、新製品・新技術の開発、タイムリーな市場投入、低コスト生産を実現する当社及びグループ会社の能力
- ・ 製品・材料市場、製品・材料市況の変動
- ・ 為替相場変動
- ・ 資金調達環境
- ・ 製品・材料需給、製品・材料市況及び為替相場等の変動に対する当社及びグループ会社の能力
- ・ 自社特許の保護及び他社特許の利用の確保
- ・ 製品開発等における他社との提携関係
- ・ 日本の株式相場変動